



三重の農林水産業の自立的な発展に向けて  
～若者にとって魅力ある三重の農林水産業をめざして～

三重県

議題 2

平成30年1月25日  
第3回三重県経営戦略会議資料

- 農林水産業は、食料や木材の供給を通して県民生活や地域経済を支える重要な産業であるとともに、公益的機能を有し、今後も持続的に発展させていかなければなりません。
- 三重県の農林水産業を取り巻く環境は厳しく、グローバル化等による産地間競争の激化や生産物価格の低迷に加え、従事者の高齢化や担い手不足の深刻化など、多くの問題を抱えています。
- こうした中で農林水産業を持続的に発展させていくためには、ただ作る・獲るだけの農林水産業から、収穫物の付加価値を高め、マーケットインの視点で経営を行う農林水産業への転換を進め、自立した魅力ある産業にしていく必要があります。
- そのためには、将来の三重県の農林水産業を担う人材、特に新たな発想で行動力にあふれた若者に参入していただくことが大変重要であり、三重県の農林水産業を若者にとって魅力ある産業にしていくために大切なことは何か、また、県としてどのように取り組むべきか、ご意見をいただきたいと思います。



## 2-1. 「もうかる農林水産業」

三重県では、ただ作る・獲るだけの農林水産業から、収穫物の付加価値を高め、マーケットインの視点で経営を行う農林水産業への転換を進め、自立的に発展する魅力ある産業にしていく「もうかる農林水産業」の取組を進めています。

### 【現状】

- グローバル化等による産地間競争
- 生産物価格の低迷
- 従事者の高齢化
- 担い手不足の深刻化

### 【課題】

- ① 「発信力・営業力の強化」
- ② 「商品開発力の強化」
- ③ 「経営力の強化」

### 【対策】

- ① 三重県の「食」の魅力等の情報発信など
- ② 三重県の「食」の魅力等を最大限に生かした消費者等に訴求力のある商品開発など
- ③ 農林水産業の新たなビジネス展開の促進など

もうかる農林水産業の実現



情報発信



商品開発



人材育成

## ●GAP認証の取得

東京オリパラを契機として、海外へ三重県の農林水産物を展開するため、食材調達基準の一つである国際水準GAPの認証取得や、GAP指導人材の育成などの取組を行っています。



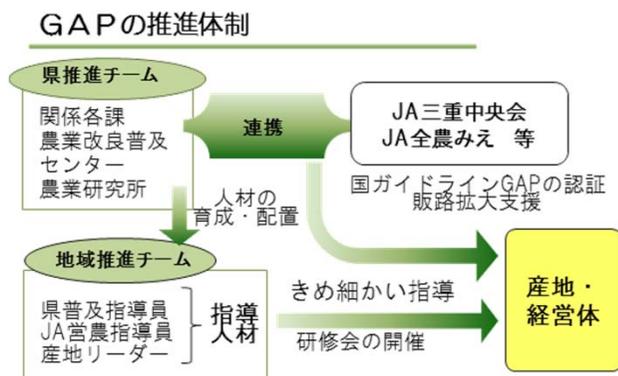
三國 清三 シェフ  
(東京オリパラ組織委・顧問)

県産農林水産品の販売拡大につなげるため「東京オリパラ三重県農林水産協議会」を設置(H29.5.24)

生産者や関係団体、三重県が一丸となってGAP認証の取得にチャレンジしていくキックオフ大会「**三重県GAP推進大会**」を開催し、「**みえGAPチャレンジ宣言**」を行いました。(H29.7.24)

## ●GAPの推進体制

国際水準GAPの認証取得等に向け、29年度に推進体制を構築しました。



## ●世界で選ばれる三重県産食材へ

ASEAN、中国、香港、台湾など広く海外において、国際食品見本市等への出展や海外現地アドバイザーの設置、ECサイトの活用促進等、県産農林水産物の輸出拡大に向けた取組を行っています。

### みかんや柿などの果実



タイ マックスバリュ三重県フェアでの販売

### ブランド牛



香港やシンガポール、米国などに輸出、PR

### 県産米



J A全農×アリババ 中国ECサイトで三重県産米の販売を開始。(動画によりPR)

### 水産物



バンコク伊勢丹三重県フェアでの販売

## 2-3. もうかる農林水産業に向けた取組②

### ●みえフードイノベーション等による新商品の開発

企業等と連携し、県産農林水産物を活用した新たな商品等を生み出す取組を行っています。



#### みえパン

さまざまな三重県産食材を使ったパンを企画開発し、平成29年12月末までに61種類のパンを発売  
(株)コイサズ



#### 三重県おせち

楽天市場特設ページで、伊勢海老やアワビ、松阪牛など、30品目すべてに県産品を使用した三段重のスペシャルおせちを発売

#### 世界の空へ

欧米・オセアニア・アジア行き国際線に三重県産食材を活用した機内食メニューを搭載  
(日本航空株)



#### 和ラー

「伊勢海老汁」の味わいをモチーフしたカップ麺を発売 (サンヨー食品株)

三重県産伊勢海老 (粉末) を使用

#### ラグジュアリーホテルにおける「三重県フェア」



「極上の三重県フェア」  
ANAクラウンプラザ  
ホテルグランコート名古屋



「三重ディナープロモーション」  
ザ・リッツ・カールトン大阪



「テイスト オブ 三重」  
マンダリン オリエンタル 東京

### ● 新たな商品創出に向けた研究開発

県産農林水産物を生かした魅力ある新たな商品やサービスの創出につながる研究開発の取組を行っています。

#### ◎ 「結びの神」(品種名：三重23号)

- ・夏期の異常高温に強い新品種として三重県が開発しました。
- ・一等米比率は99% (H28)。
- ・ふっくら美しい炊きあがりと、もちもちとした食感が特長。
- ・冷めてもおいしく、**県内外のお寿司屋さんなどで好評**です。



#### ◎ 「アサクサノリ」

- ・希少性や付加価値の高いアサクサノリを三重県が復活。
- ・DNA検査及び食味審査を通過した**初摘み製品のみ**を出荷。
- ・パリッと歯切れよく、甘みと香りの広がる口溶けの良さが特長。
- ・「伊勢あさくさ海苔」の名称で平成26年12月19日に商標登録。
- ・**全国海苔共販で最高値を記録**。(H29.1：17,000円/100枚)



伊勢あさくさ海苔

### ● ジビエの普及拡大

三重県では「みえジビエ品質・衛生管理マニュアル」をはじめとした、衛生管理、品質管理を順守している事業者を、「みえジビエ登録施設」として登録し、安全・安心で高品質な「みえジビエ」製品の提供を実現しています。

安全・安心で美味しい鹿肉・猪肉を提供する  
「みえジビエ登録制度」

「みえジビエ登録制度」とは、その鹿肉・猪肉が、三重県が策定したマニュアルに沿って取り扱われた、安全で高品質なものかどうかを分かりやすくするための制度です。登録対象は、消費者の方へ届くまでに流通する施設で、このように幅広く対象としている制度は全国でも初めてです。

日本初!



みえジビエのフレンチ  
(三重県立美術館内ミュゼ・ボンヴィヴァン)

三重県 コラボ CoCo壱番屋 コラボ企画 第6弾!

三重県内全店! カレーハウスCoCo壱番屋で、期間限定販売  
販売期間:H29年11月1日(水)~H30年1月31日(水)

### “シカコロ三種カレー”

「シカコロ」とは、みえジビエ(シカ肉)入りのコロツケです。  
第1弾のコラボメニューとして登場したシカコロが、新しいバージョンになり登場!

763円(税込823円)  
トッピング追加もできます。  
1本 167円(税込180円)

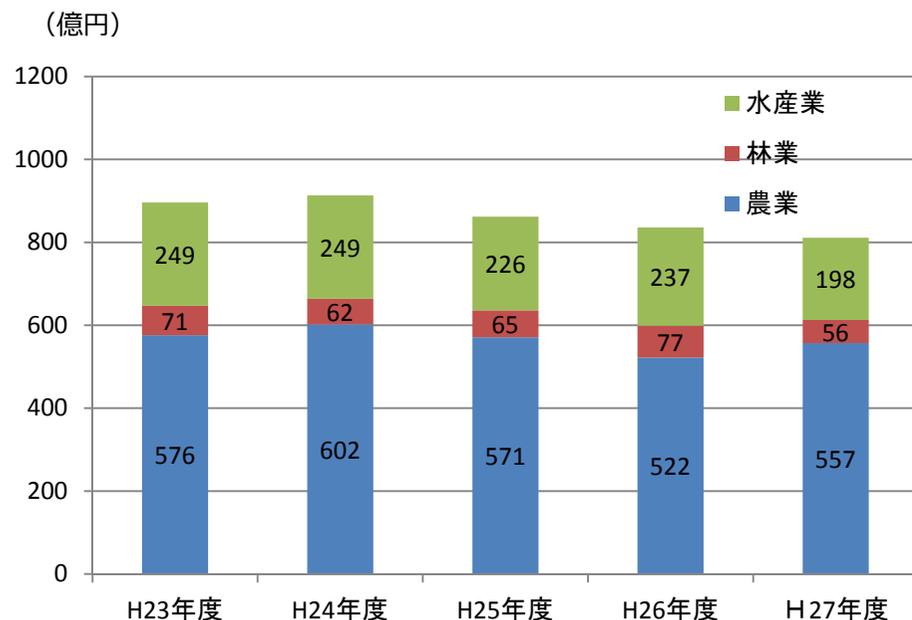
三種コロツケの秘密!  
フルーティ 濃厚 フレーン

中身が、フルーティ、濃厚、フレーンの三種!  
カレーと一緒に、絶妙な味の変化をお楽しみください。

「CoCo壱番屋」において  
コラボカレーの販売を  
平成24年から毎年実施し、  
平成29年で第6弾目

# 3-1. 三重県の農林水産業の総生産額

- 農林水産業の総生産額は、平成27年度 811億円。
- 過去5年間の総生産額に農業、林業、水産業ともに大きな変化はない。



三重県の農林水産業の総生産額の推移 (出典：三重県民経済計算結果) H27年度は速報値 (H29.3.15公表)

- 農林水産業の労働生産性は、他産業に比べ低いとされている。

各分野における主な労働生産性 (就業1時間当たり)

分野	労働生産性
農業 (水田農業)	4,382円
農業 (茶)	2,533円
農業 (酪農)	1,059円
水産業 (漁船漁業)	2,704円
水産業 (のり養殖)	3,204円
製造業	5,440円
全産業の平均	4,538円

出典：

農業分野については、三重県「平成26年三重県農業経営基盤強化の促進に関する基本方針」の数値を引用。

水産業分野については、農林水産省「平成28年漁業経営調査」の数値を引用。

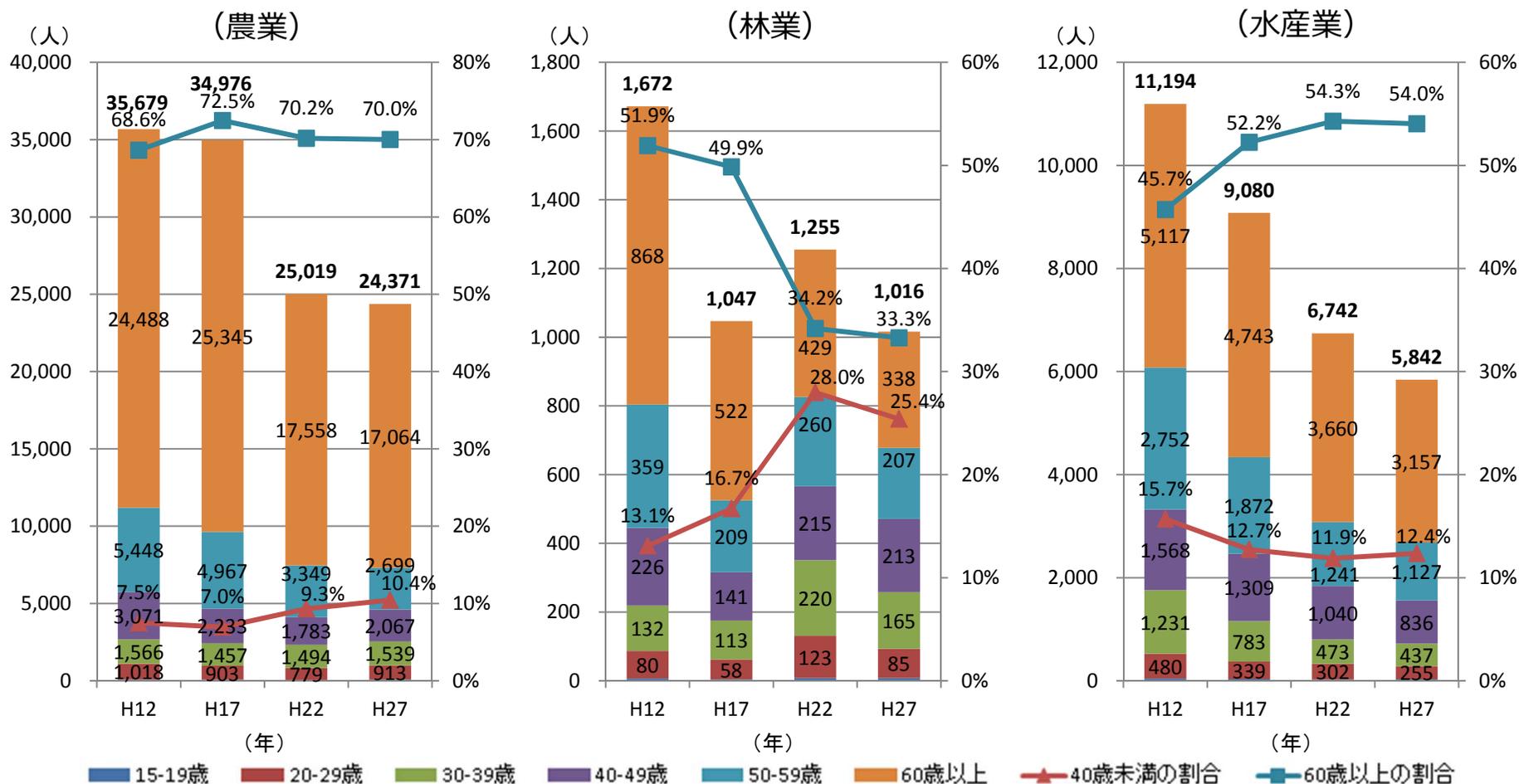
上記以外は、内閣府「平成27年国民経済計算」をもとに日本生産性本部が算出した数値を引用。

注) 労働生産性については、ベースとなるデータは異なるが、各分野における主なものを比較すると上記の表のとおりとなる。実際の所得や経営状況等は、各分野の経営形態等が異なり、それらを正確に反映したものではないので、留意する必要がある。

## 3-2. 三重県の農林水産業就業者の状況

- 農林水産業就業者は、31,229人（県内就業者総数の3.7%（H27））であり、各分野ともに年々減少している。
- 農業および水産業では、60歳以上の就業者の割合が高い値で推移し、世代交代が進んでいない。

### 就業者数の推移



（出典：国勢調査就業状態等基本集計：総務省統計局より三重県作成）

# 3-3. 三重県の農林水産業の担い手

●農林水産業の担い手は、農業、林業、水産業で異なる。

## 農業の主な担い手

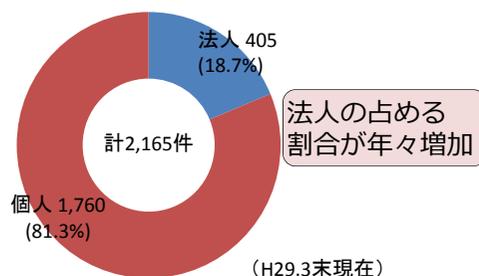
◇農業経営体数 26,423経営体

- 家族経営体 25,876経営体(97.9%)
- 組織経営体 547経営体(2.1%)

※2015農林業センサス

中心的な担い手は認定農業者 (2,165件)

### 認定農業者の内訳



- 農業協同組合の役割
  - ・農産物の流通・販売
  - ・生産資材等の共同購入
  - ・営農指導
  - ・金融事業

## 林業の主な担い手

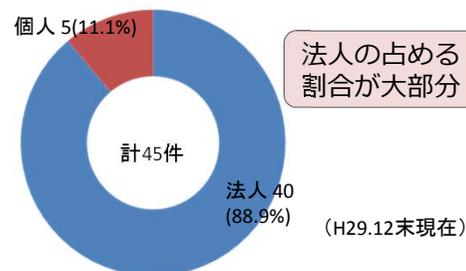
◇林業経営体数 1,350経営体

- 家族経営体 1,214経営体(89.9%)
- 組織経営体 136経営体(10.1%)

※2015農林業センサス

中心的な担い手は認定林業事業体 (45件)

### 認定林業事業体の内訳



- 森林組合の役割
  - ・森林管理
  - ・森林施業の受託
  - ・生産資材等の共同購入
  - ・林産物の共同販売

## 水産業の主な担い手

◇漁業経営体数 4,118経営体

- 個人経営体 3,995経営体(97.0%)
- 組織経営体 123経営体(3.0%)

※2013漁業センサス

中心的な担い手は個人経営体

漁業における、法人化や協業化の取組は今後、注力して取り組む

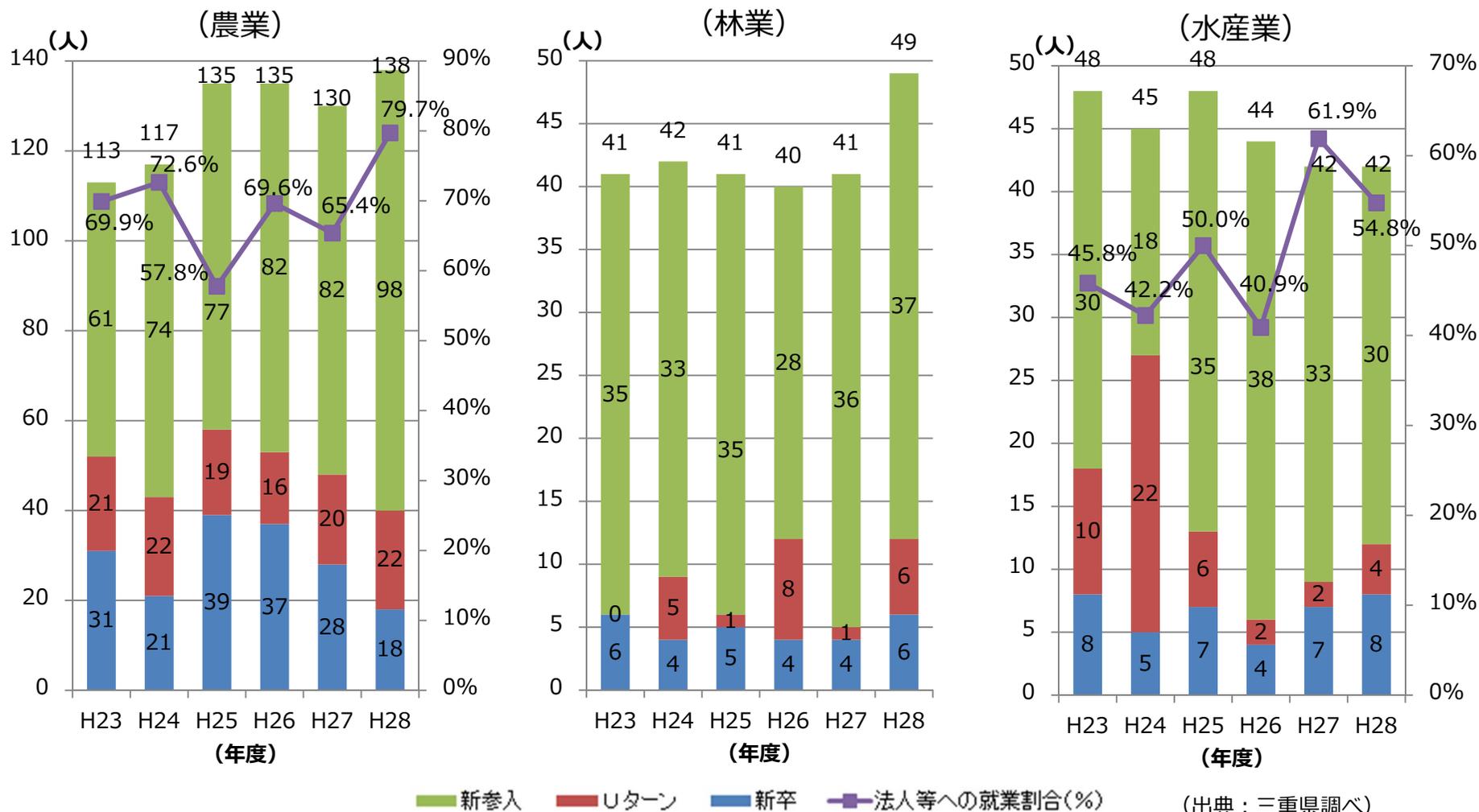
- 漁業協同組合の役割
  - ・水産物の流通・販売
  - ・生産資材等の共同購入
  - ・営漁指導

# 3-4. 三重県の新規就業者の状況

- 新規就業者は、ここ数年各分野ともに一定水準を維持している。
- 農業分野では、法人等への就業割合が約80%となっている。

(林業分野の新規就業数は、林業事業体への就業)

### 新規就業者数の推移

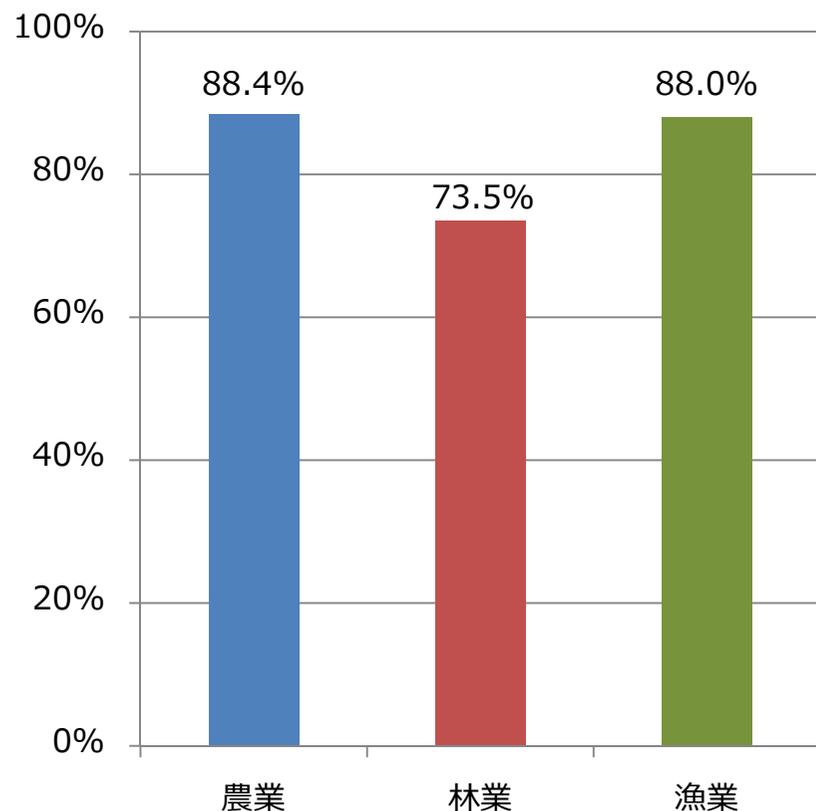


(出典：三重県調べ)

## 3-5. 三重県の新規就業者の定着

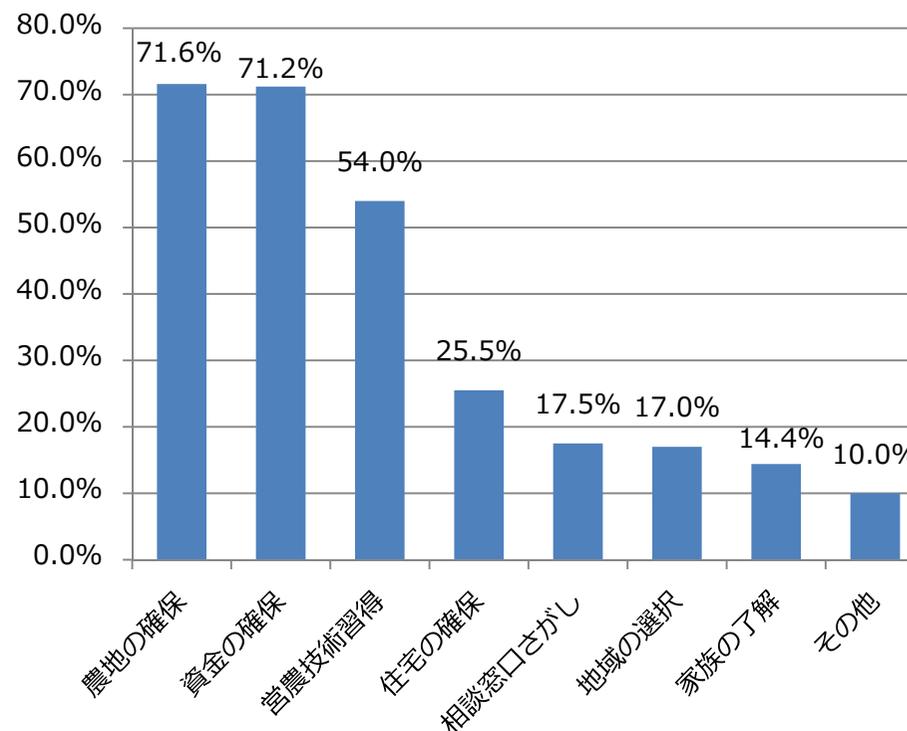
- 新規就業者の定着率は、一定の水準を維持しているものの、課題も多い。
- 例えば、農業への新規参入者が苦労したことは「農地の確保」「資金の確保」「営農技術習得」など。

新規就業者の定着率



※農業及び林業については、平成28年度に就業した者の平成29年4月1日時点での定着状況  
 ※漁業については、平成27年度に就業した者の平成28年4月1日時点での定着状況  
 (出典：三重県調べ)

農業への新規参入者が苦労したこと



※回答者が上位3番目までに選択した割合  
 (出典：新規就農者の就農実態に関する調査結果：全国農業会議所、2017)

**【水産業】**

就業希望者（特に漁家子弟でない人）が就業するまでには、長期にわたる技術取得が必要。安心して長期研修を受けるには、研修中の収入確保が課題（出典：三重県調べ）

三重県の農林水産業を自立した魅力ある産業としていくための課題

- 海外展開（輸出促進）
- 生産性の向上（省力化、付加価値向上、技術開発など）
- 就業に係る環境整備（就業後の技術習得や資金の確保など）



こうした課題の解決に向けて、三重県の農林水産業を担う人材として

**若者の参入促進が大変重要**

農林水産業への就業を希望する若者を取り巻く現状

- 三重県が実施した「農業法人従業員の職務満足度に関する調査」結果によると賃金・労働時間等の安定を求める声が多い（H27）。
- 新規就業者が苦勞したこととして、農地の確保、資金の確保、営農技術習得が上位にきている。



若者の参入を促進するためには、

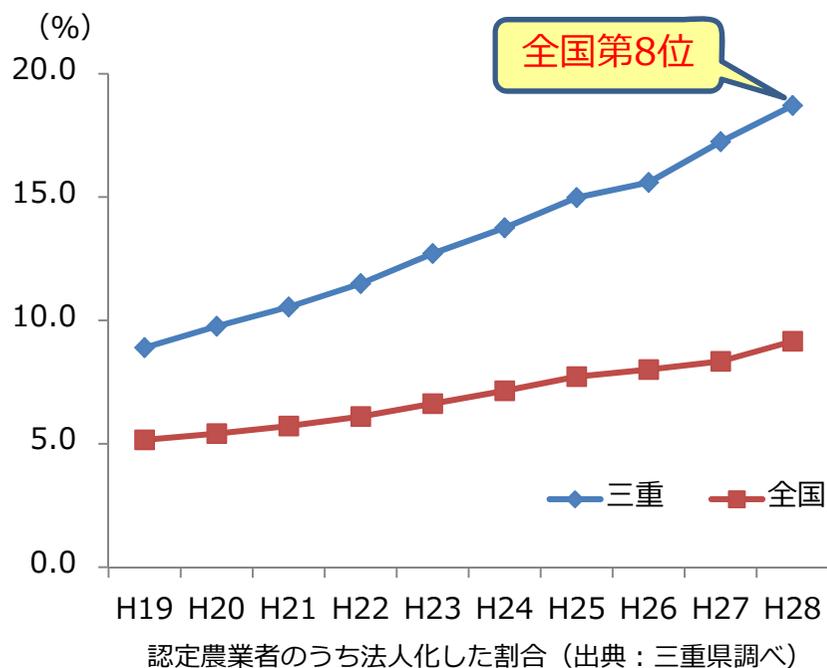
**「法人化・協業化」、 「生産性の向上」、 「人材育成」**

に注力して取り組む必要があると考えます。

# 5-1. 法人化・協業化に向けた取組

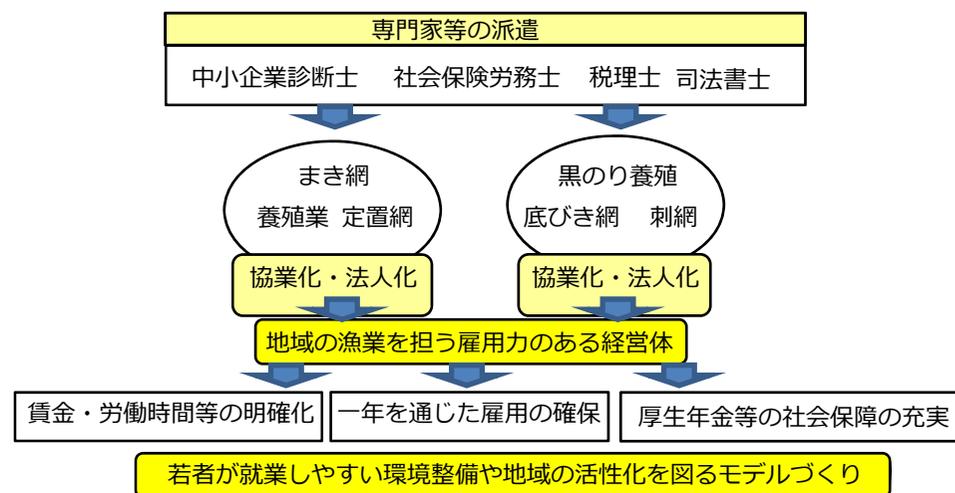
## ● 農業

「三重県農業法人化支援協議会」を設置して専門家による技術支援や研修会の開催等を行っています。  
 農業分野では累計462経営体（H28）が法人化を行いました。



## ● 水産業

漁業経営体が協業、法人化を進める取組に対して中小企業診断士、社会保険労務士、税理士等の専門家を派遣し、事業計画の作成、法人化に必要な手続きなどの助言を行っています。



協業化モデルイメージ（黒のり加工施設と作業状況）

## ● みえ次世代施設園芸コンソーシアム

産学官が連携し、「みえ次世代施設園芸コンソーシアム」を立ち上げ、ICTを活用して高度な環境制御を行う施設園芸（次世代施設園芸）の普及に向け、トマトを対象に以下の取組を行っています。

○次世代施設園芸の要素技術の大規模実証温室の設置  
(1ha規模。H30.3月、津市内に完成予定)



○高品質トマトの周年安定生産技術の実証と普及

○高度環境制御、雇用型労務管理に係る人材の育成

### 【(株)浅井農園の取組】

- ・2007年よりオランダの栽培システムを導入して、完熟チェリートマトの栽培を開始。全国のスーパーや百貨店、ホテルチェーン等との契約栽培による直接取引を行い、安定した販路を確保しています。
- ・海外からのインターンシップの受け入れや国内で博士号を取得した学生の採用なども積極的に行い、国際的に活躍できる人材の育成にも力を入れています。



栽培圃場



完熟チェリートマト

## ● 農林水産業の生産性向上

労働環境の改善や技術習得の円滑化、生産性の向上などをめざして、ICT等を活用した農林水産業のスマート化に向けた取組を行っています。

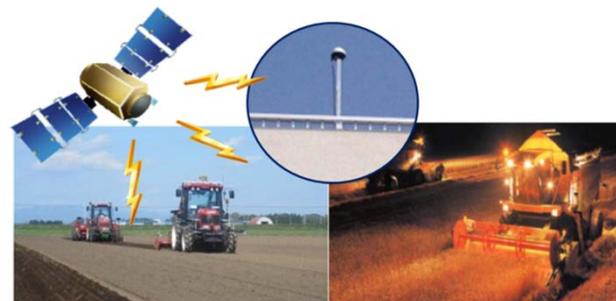
### ○取組紹介

- ・高品質で良食味米の伊賀米、生産量全国第3位の伊勢茶をターゲットにしたリーディングプロジェクトを実施予定（H30年度）
- ・熟練生産者が行った栽培技術や生育データを気象データとともに解析することで、匠の技を産地全体で使える形で「見える化」し共有



匠の技の見える化（伊勢茶）

- ・自動化・サポート技術など軽労化技術の導入促進など



GPS自動走行システム（イメージ・出典：農林水産省資料）

## 5-3. 人材育成に向けた取組①

新規参入者が抱える課題（農地の確保、漁業権の取得等）解決に向けて、農地中間管理事業や地域の先進農家によるサポート（みえの就農サポートリーダー制度）や漁業協同組合が行う漁師塾などの取組を支援しています。

### ● みえの就農サポートリーダー制度（平成24年度～）

三重県では、地域の中で中心となって就農希望者をサポートしていただく農業者等を「就農サポートリーダー」として登録する制度を設けており、現在、130名の方に活躍いただいています。



就農サポートリーダー

### ● 漁師塾

意欲ある若者の漁業への就業・定着を促進するため、漁協が取り組む人材育成や就業支援を行う仕組みである漁師塾を県内4地区に開設し、これまで13名が漁業に就業し、現在も10名が研修に取り組んでいます。（H30.1月時点）



座学風景（藻場再生）



実技研修（大型定置）

さまざま人材の確保・育成の取組を支援しています。

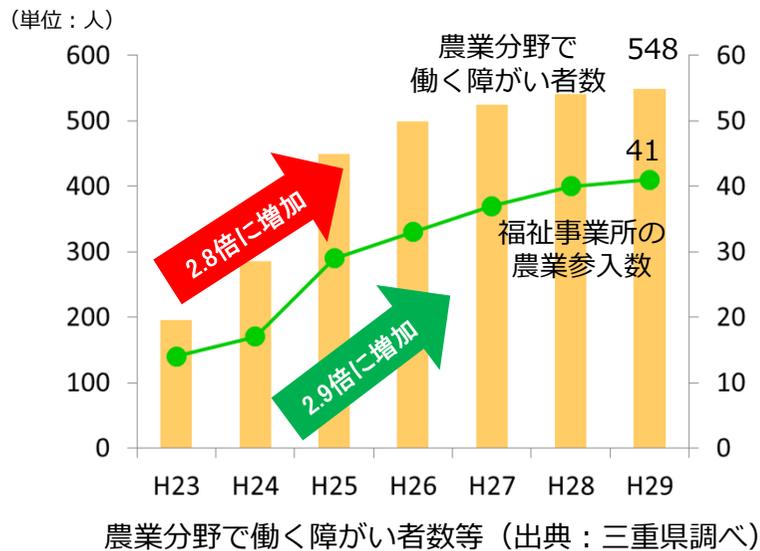
## ● 農福連携

地域・民間の連携による全国に先駆けた農福連携モデルを三重県から発信しています。



普及指導員の話に耳を傾ける特別支援学校の生徒の皆さん

ノウクマルシェでの販売



## 「農福連携

## 全国都道府県ネットワーク」設立

都道府県間の連携を強化し、全国的な気運の醸成や環境づくりを進める。

現在、44都道府県が参加

H29.7.12



## ● 林福連携

木工品製作と苗木生産の現場において、福祉分野との連携に向けた取組を本格展開



## ● 水福連携

県内8つの福祉事業所が、カキに付着したフジツボの除去などの作業を漁業者から受託



## 5-5. 人材育成に向けた取組②

### ●みえ農業版MBA養成塾

先進的・革新的な農業ビジネスを展開できる人材を育成するため、平成30年4月から「みえ農業版MBA養成塾」を開設します。

三重県農業大学校のみならず、三重大学大学院地域イノベーション学研究所（修士課程）、県内の農業法人、食品産業事業者等が連携し、以下のカリキュラムを実施します。

履修科目	カリキュラム内容 等
①農業基礎講座	農業に関する基礎的な学習
②経営学講座	農業経営、農業簿記 経営マネジメント、リーダーシップ論 等
③フードマネジメント講座	フードバリューチェーン総論、食品加工、機能性、HACCP、食品ビジネス戦略 等
④プロジェクトマネジメント講座	現地課題を研究テーマとした演習
⑤雇用型インターンシップ	県内農業法人等でマネジメント手法を習得
⑥経営プラン策定演習	雇用型インターンシップでの課題や企業内起業などの取組により、自らの経営プランを策定

### ●みえ森林・林業アカデミー

経営感覚を持つ林業人材の育成に向けて、平成30年10月から「みえ森林・林業アカデミー」のプレ開講を行います。



#### めざす人材像

- ①高い使命感に加え、広い社会性を備え、意欲的に行動できる人材
- ②科学的知見に基づき適切な森林管理ができる人材
- ③戦略的な林業経営が実現できる人材

#### アカデミー

- 林業現場の既就業者が働きながら学ぶシステム
- 人材の役割に応じた3つの育成コース（ディレクター、マネージャー、プレイヤー）
- 産学官連携組織の協力のもと、オール三重での実施体制

平成31年4月本格開講（県林業研究所内）

### 【論点】

- ・三重県の農林水産業を若者が自ら進んで、職業として選択する魅力ある産業としていくためには、今後、これまでの取組に加え、「法人化・協業化」、「生産性の向上」、「人材育成」に注力して取り組む必要があると考えるがどうか。
- ・また、上記の3つの課題以外に、注力して取り組むことはないか。



法人化・協業化



生産性向上



人材育成

三重県農林水産部公式 F a c e b o o k

## 「三重まるごと農林水産」

三重県の農林水産業に関するイベントや食べ物の情報をお届けしています！  
ぜひフォローしてください！ ⇒ [@mie.marugoto.nourinsuisan](https://www.facebook.com/mie.marugoto.nourinsuisan)